



高齢者の健康づくりを支援します  
(写真は川崎地域健康まつり)

計画を策定いたします。

また、岩手県南技術研究センターを活用し、地域企業の若手技術者の育成を支援するとともに、新たに貸し研究室を設置し、産学連携促進による地域企業の技術力向上に努めてまいります。研究開発工業団地の整備については、岩手県および岩手県土地開発公社と連携を図りながら、国道284号真滝バイパスおよび市道寺田下流通団地線と併せ、早期整備に努めてまいります。

また、既存工業団地の未分譲区画についても、販売を促進するなど積極的に企業誘致を進めてまいります。

雇用対策については、無料職業紹介事業の実施やパートバンクおよび若者の就業支援のためのジョブカフェへの相談員の配置など、就業の確保を図るとともに、関係機関、団体と連携しながら、雇用の安定に努めてまいります。

また、職業訓練施設を活用し、就業者の技能の向上を図るとともに、求職者の就職を支援するための職業訓練事業を実施するなど、職業能力開発機会の充実を図ってまいります。

商業については、意欲ある事業者の育成と商店街を構成する個々の店舗の魅力向上を図るため、成功店モデル創出・波及事業を実施するとともに、中心市街地活性化基本計画の策定に向けた取り組みを進めてまいります。

また、中小企業振興資金の融資枠を拡大し、融資制度の充実を図ってまいります。

観光については、官民一体となって観光戦略を展開するため、観光振興計画を策定いたします。

また、栗駒山、厳美溪、猊鼻溪、室根山などの観光資源や各種イベントなどの地域情報をさまざまな媒体を通じて発信し、観光客誘致に努めるとともに、東北三県デスティネーションキャンペーンや仙台・宮城デスティネーションキャンペーンに参画し、岩手県南および宮城県北との広域連携を図りながら、滞在型・体験型の魅力ある観光地を目指してまいります。

### みんなので支え合い 共に創る安全・安心のまちづくり

第2に「みんなで支え合い共に創る安全・安心のまちづくり」の施策について申し上げます。

#### 子どもを生き育てる環境の充実

市民の健康づくりについては、自主的健康づくりの支援や健全な食生活のあり方を示した健康いちのせき21計画および食育推進計画の周知啓発による推進を図るとともに、市民健康講座、健康相談などの開催により、健康意識の高揚を図ってまいります。

各種健康診査やがん検診については、一次予防に重点を置き、また、疾病の早期発見、早期治療に努めるなど、市民自ら取り組む健康管理を支援してまいります。子どもを希望し、特定不妊治療を受

目指してまいります。

物産については、関係団体の活動を支援するとともに、豊島区、品川区および姉妹都市三春町、友好都市吉川市、気仙沼市などでの物産と観光展などを通じた連携・交流の促進、産業まつりの開催など、地場産品の宣伝と販路拡大に努めてまいります。

都市計画については、今後のまちづくりの指針となる都市計画マスタープランの策定を磐井川堤防改修方針を見据えながら進めてまいります。

また、小児成人救急医療対策事業の実施など、救急医療、小児医療環境の整備に努めてまいります。

国民健康保険事業については、税金の確保に努めるとともに、温泉を利用した健康づくり事業などを通じて市民の健康増進に努めるほか、国保制度の周知や退職者の資格管理などによる医療費の適正化を図りながら、健全運営に努めてまいります。

高齢者福祉については、高齢者が自立した生活を送られるよう、地域包括支援センターと連携し、介護予防事業を開催するなど、高齢者の健康の保持に努めてまいります。

自然災害の防止については、一関地域大平山地区地滑り防止事業および鬼吉、白崎地区、千厩地域館山地区の急傾斜地崩壊対策事業を進めてまいります。北上川上流改修一関遊水地事業については、磐井川堤防改修や第2・第3遊水地の小堤などの早期着工について、促進を要望してまいります。

さらに、一関遊水地下流部の狭隘地区の治水対策、砂鉄川河川激甚災害対

### 人を育み文化を創造する 生きがいのあるまちづくり

第3に「人を育み文化を創造する生きがいのあるまちづくり」の施策について申し上げます。

#### 教育立市の実現

活力あるまちとは、そこに暮らす人々が活気を持って生活できるまちといえます。

市民が、一関市民としての心のゆとりや豊かさが感じられる一関の文化を創造するとともに、市民一人一人が夢と希望を持つ生きがいのあるまちづくりが必要です。

教育は、人づくりの基本であるとともに豊かな地域づくりのためにも欠くことのできないものであります。

心の大切さや人としての生き方が見失われがちな今日、これらの確立こそがこれからの社会を支えていく上で最も大切であると考えられております。



地域企業の技術力向上に努めます  
(写真は2月21日行われた企業情報交換会)

また、今後増加が予想されるひとり暮らし高齢者や認知症の高齢者が、住み慣れた身近な地域で生活が送られるよう、小規模多機能型居宅介護などの地域密着型サービスを推進するとともに、老人クラブ活動への助成を通じて、高齢者の生きがいづくりの活動を支援してまいります。

障害者福祉については、適切なサービスの利用を促進するとともに、障害者が施設から地域社会で自立した生活が送られるよう、グループホームなどの整備を支援するほか、障害者就労生活支援センターの運営助成により、障害者の就労を支援してまいります。

また、利用者負担軽減、事業者に対する運営支援を図るとともに、地域生活支援事業においても、国の制度との整合を図りながら、引き続き利用者負担の軽減策を実施してまいります。

策特別緊急事業についても促進を要望してまいります。また、本年は、カスリン台風から60年を迎えることから、未曾有の災害を風化させることなく後世に伝え、防災意識の高揚を図るとともに、治水事業の早期完成に向け、カスリン・アイオン台風60年事業を行い、市民と一体になって安全安心なまちづくりに努めてまいります。

私は、まちづくりの理念の一つに教育立市を掲げておりますが、その実現に向け、学校教育のみならず生涯学習の充実や文化振興、スポーツ・レクリエーションの振興など諸施策の展開を支援してまいります。

学校教育施設については、一関小学校の耐震補強工事など学校の耐震化の推進、内野小学校と大原小学校の統合学校の整備、平成20年4月の開校を目指した弥栄中学校と真滝中学校の統合学校の整備など安全で安心して学べる教育環境の整備や大東地域と東山地域を統合した学校給食センターの整備を進めてまいります。

青少年健全育成については、一関市要保護児童対策地域協議会を中心とし、関係機関の連携をより密にしながら相談機能の強化に努め、児童虐待の早期発見と防止に努めてまいります。